

真地久茂地線外1線

当該路線は、那覇市松尾の那覇高校前交差点を起点に開南交差点、与儀交差点及び寄宮交差点を経て第二環状線真地交差点に至る那覇市域を東西に横断する重要な放射幹線街路として位置づけられている。

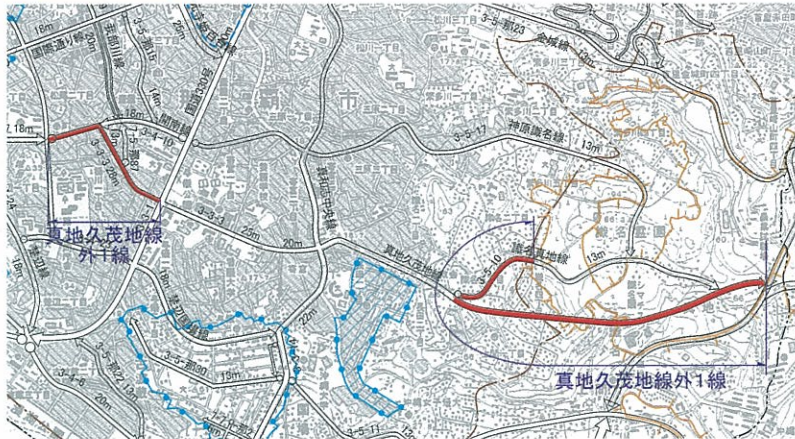
現道は、開南交差点、与儀交差点において慢性的に渋滞を引き起こしており、また、バス路線でありながら幅員が狭小で歩車道の区別もなく交通安全上危険な状況である。そのため、4車線に拡幅し、市の東西間を結ぶ幹線道路網の形成と安全で快適な歩行空間の創出を図る。

併せて、識名真地線についても、幅員が狭小で歩車道の区別もなく交通安全上危険な状況であるため、円滑な道路網形成と安全で快適な歩行空間を確保するため、拡幅整備を行う。

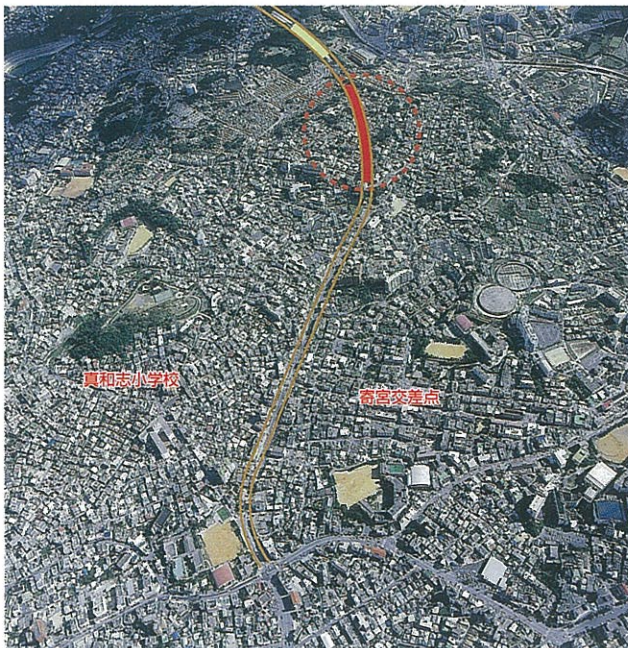
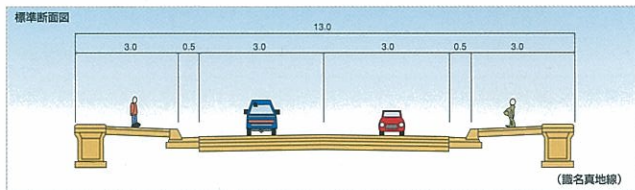
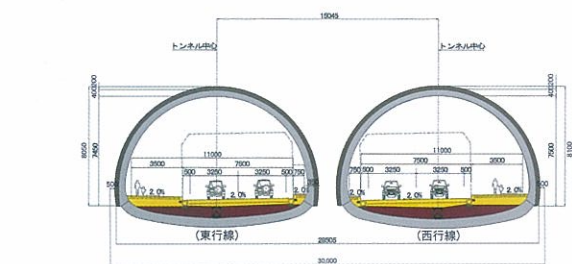
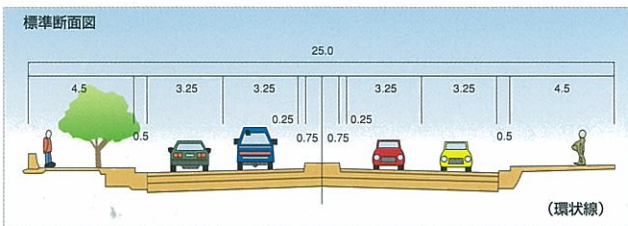
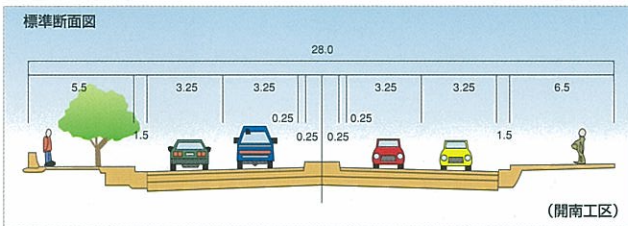
街路事業



箇所名	那覇市楚辺～真地
全体計画	延長2,490m、幅員25,28m
事業期間	昭和63年度～平成25年度（予定）



沖縄県の街路事業



位置図



龍潭線

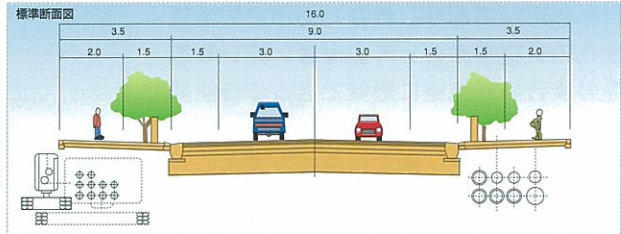
当該路線は、那覇市中心部から沖縄の観光主要拠点である首里城公園への交通アクセスの要所となっているが、近年の観光客増加に伴うレンタカーや観光バスの増加による交通量増加と未整備な道路状況により交通渋滞が慢性化している。

また、周辺には小学校、中学校、高校、大学があり通学路となっているが、歩道が狭いため通学時の交通安全にも支障をきたしている。

当該路線を整備することにより、安全で快適な歩行空間を確保するとともに、慢性化している交通渋滞の緩和を図る。



街路事業	
箇所名	那覇市首里山川町～首里汀良町
全体計画	延長1,215m、幅員16m
事業期間	平成11年度～平成23年度（予定）



県道153号線外1線

当該路線は、国道58号を起点に、浦添市から那覇市へ南北に延びる幹線街路として位置付けられているが、本事業区間においては、バス路線であるにもかかわらず現道幅員が狭小で渋滞がひどく、歩車道の区別がなく交通安全上問題のある路線となっている。

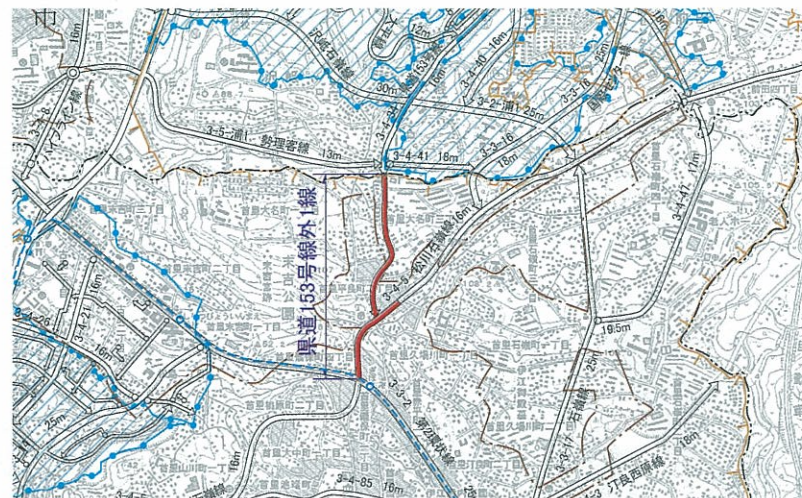
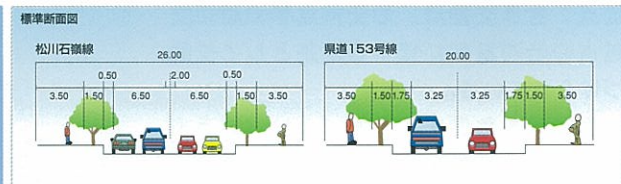
本路線を整備することにより、浦添、宜野湾市街地から那覇市街地へのアクセス性を向上させるとともに、歩道を設置し安全で快適な歩行空間の形成を図る。



(完成予想図)



街路事業	
箇所名	那覇市首里大名町～首里末吉町
全体計画	延長1,170m、幅員20m
事業期間	平成10年度～平成21年度（予定）



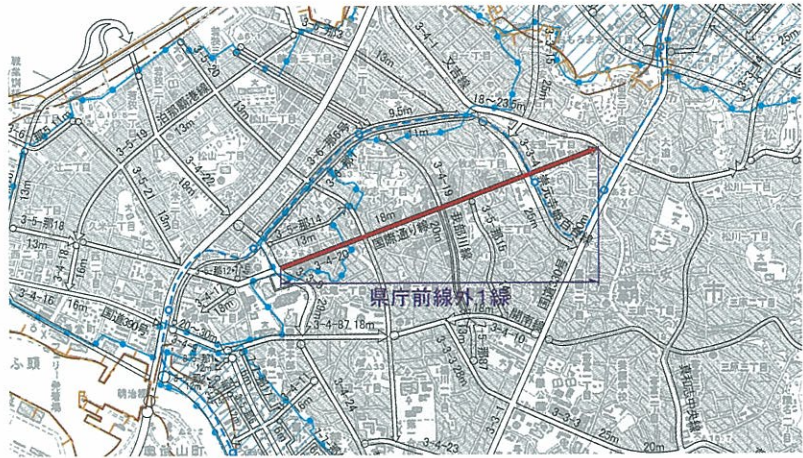
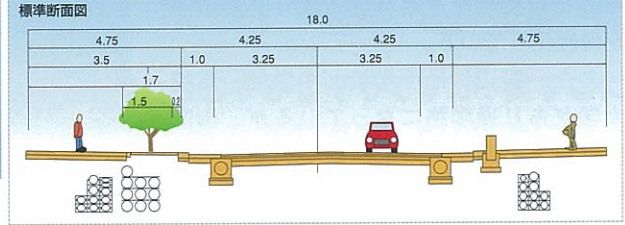
県庁前線外1線(国際通り線)

当該路線は、県都那覇市の中心市街地で行政・商業の最も集中する地区にあり、重要な幹線街路となっている。

これまで、県庁前線720m及び国際通り線(久茂地側)200mを供用しており、現在、中心市街地活性化の支援事業として観光客、買い物客等の歩行者が快適に散策できる歩行空間を確保することを目的に、歩道の拡幅、電線類の地中化、橋梁整備等を実施し、沖縄県の顔となる街路の整備を図る。



街路事業	
箇所名	那覇市久茂地～安里
全体計画	延長1,569m、幅員18m
事業期間	平成11年度～平成21年度(予定)



沖縄県の街路事業

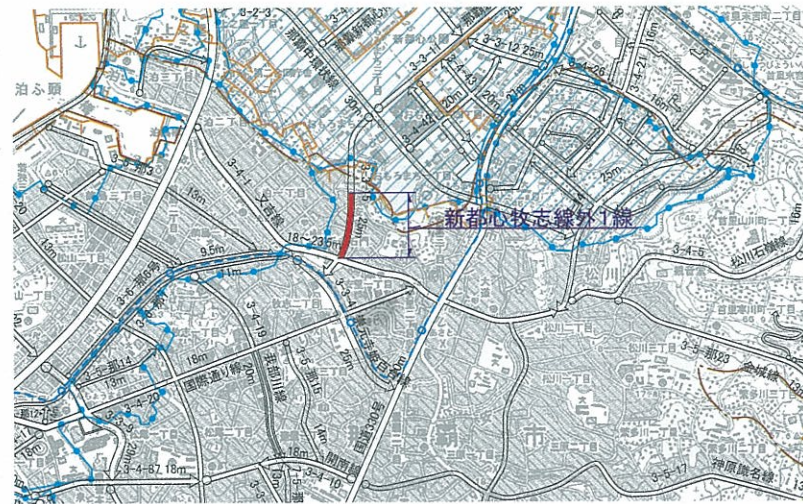
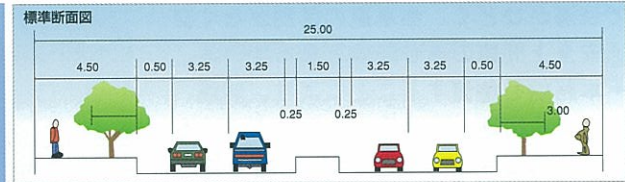
新都心牧志線外1線

当該路線は、国道58号と国道330号との間に位置し南北に延びる路線で、那覇市中心市街地と浦添市等を結ぶ第3のルートとして位置付けられる。また、交通渋滞の激しい安里交差点、古島交差点、泊交差点等の周辺交差点の渋滞緩和に資する道路として位置づけられている。

本路線を整備することにより、浦添市街地等から那覇市街地へのアクセス性を向上させるとともに、慢性的になっている那覇市中心市街地の交通渋滞の緩和を図る。



街路事業	
箇所名	那覇市安里
全体計画	延長440m、幅員25m
事業期間	平成10年度～平成20年度(予定)



小禄名嘉地線

当該路線は、那覇市小禄を起点に小禄地区を南北に縦貫し豊見城市字名嘉地の国道331号へ連絡する幹線道路である。

沿線は、住宅地形成され小学校等も立地しているため、通勤や通学のための交通量も多く交通渋滞が慢性化している状態であるが、現道は、幅員が狭小で歩車道の区別もなく交通安全上問題のある路線となっている。

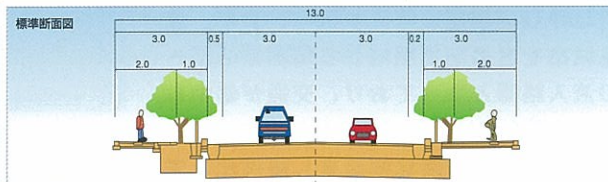
当該路線を整備することにより、市街地における機能的な道路網を形成するとともに、安全で快適な歩行空間の確保を図る。



(完成予想図)



街路事業	
箇所名	那覇市小禄～田原
全体計画	延長660m、幅員13m
事業期間	平成13年度～平成22年度(予定)



小禄名嘉地線外1線

当該路線は、那覇市小禄を起点に小禄地区を南北に縦貫し豊見城市字名嘉地の国道331号へ連絡する幹線道路である。

本事業区間においては、バス路線であるにもかかわらず現道幅員が狭小で、歩車道の区別がなく交通安全上問題のある路線となっている。

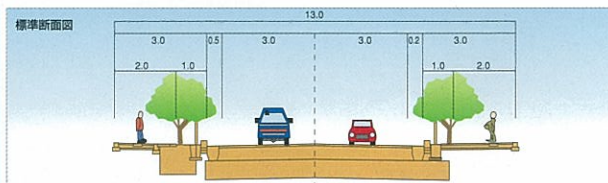
当該路線を整備することにより、市街地における機能的な道路網を形成するとともに、安全で快適な歩行空間の確保を図る。



(完成予想図)



街路事業	
箇所名	那覇市小禄～宇栄原
全体計画	延長670m、幅員13m
事業期間	平成14年度～平成22年度(予定)



豊見城中央線外1線

当該路線は、豊見城市中心部と那覇市を連結し、豊見城市の骨格を形成する幹線街路として重要な路線である。

しかし、現道は幅員が狭く、また、豊見城市を含め南部圏域から那覇都心部への流入路線となっており、交通が集中し交通渋滞が慢性化している状況である。

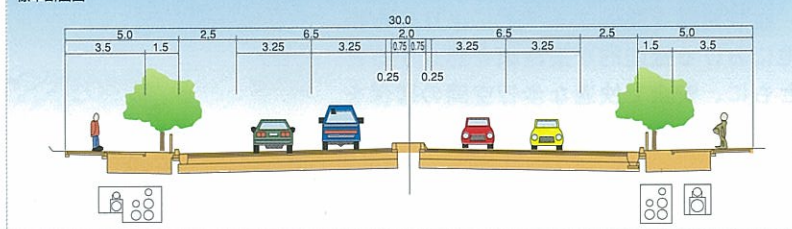
そのため、道路拡幅改良し慢性化している交通渋滞の緩和と安全で快適な歩行空間の形成を図る。

街路事業



箇所名	那覇市真玉橋～豊見城市高安
全体計画	延長 1,810m、幅員30m
事業期間	平成12年度～平成26年度（予定）

標準断面図



沖縄県の街路事業



終点（完成予想図）

糸満与那原線

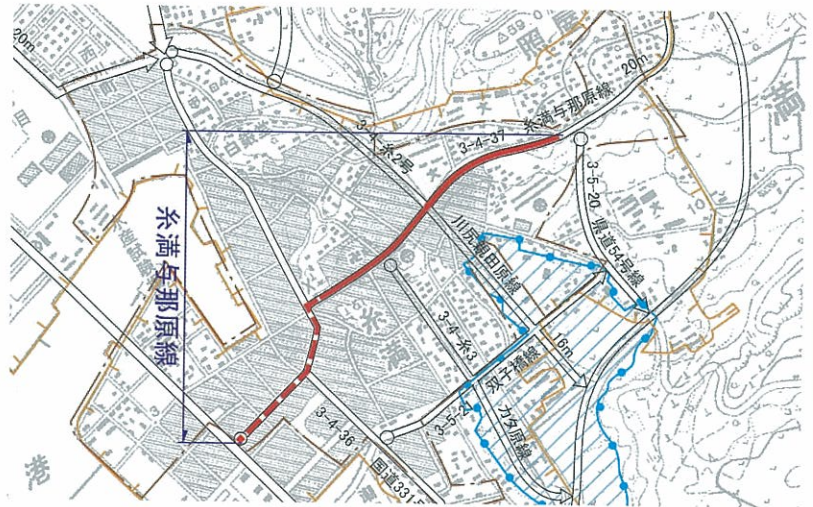
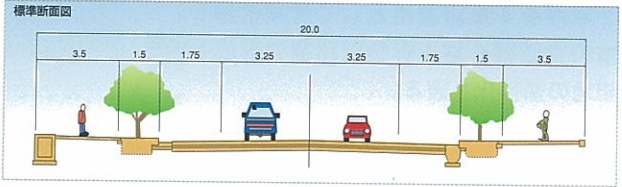
当路線は、糸満市街地中心部より国道331号と国道329号を連結する主要道路で、南部地区から空港・港湾・那覇市街地へ向かう国道331号バイパスと接続し、南部地域の一体的発展を図る幹線道路である。

沿線には商店街が形成され、小中高等学校等の文教施設が立地し通学路にもなっているが、現道は十分な歩道が無く通学時及び日常生活において危険な状況にあるとともに、近傍に糸満工業団地もあるため、朝夕には交通渋滞をきたしている。

当路線の整備により、交通渋滞を解消し、ゆとりある歩行空間の形成及び市街地の活性化を支援するものである。



街路事業	
箇所名	糸満市糸満
全体計画	延長1,240m、幅員20m
事業期間	平成9年度～平成26年度（予定）



南風原中央線

当該路線は、南風原町喜屋武を起点とし、南風原町役場前、兼城交差点及び県立公文書館前を経て第2環状線に至る幹線街路である。

現道は、渋滞の激しい箇所として早急な対策が望まれる兼城交差点において、交通容量不足から朝夕の交通渋滞が著しく、また、歩道幅員も狭小なため、4車線に拡幅し交通渋滞を緩和するとともに、歩道を拡幅し、安全で快適な歩行空間の形成を図る。



南風原町役場（完成予想図）



街路事業	
箇所名	南風原町字兼城～字喜屋武
全体計画	延長1,270m、幅員29,30m
事業期間	平成12年度～平成24年度（予定）

